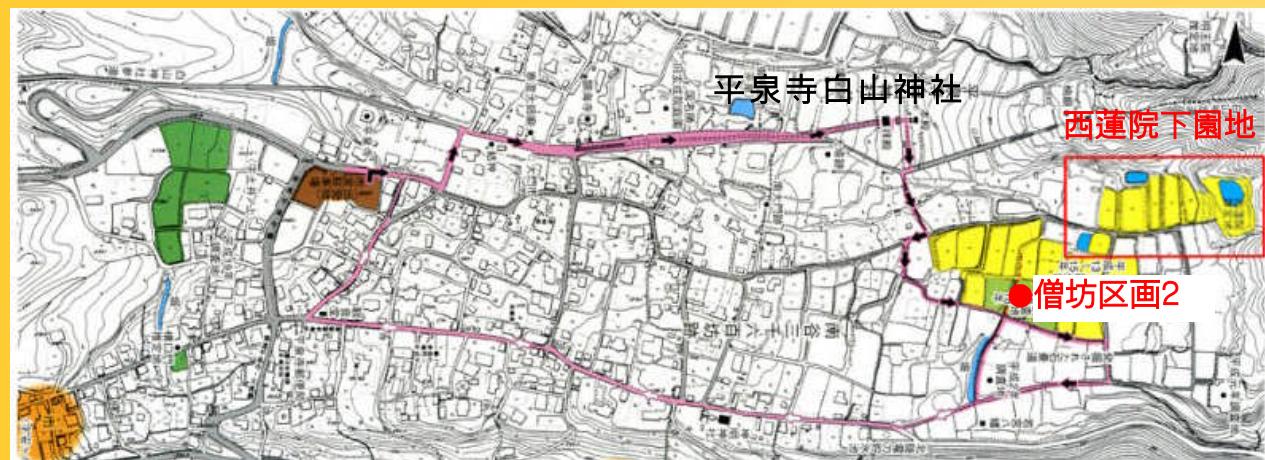
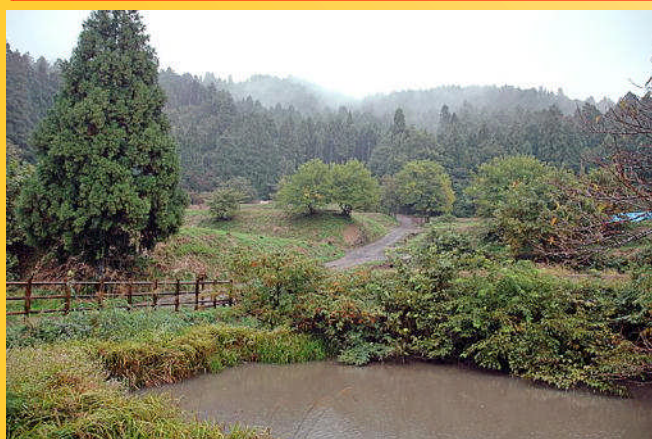
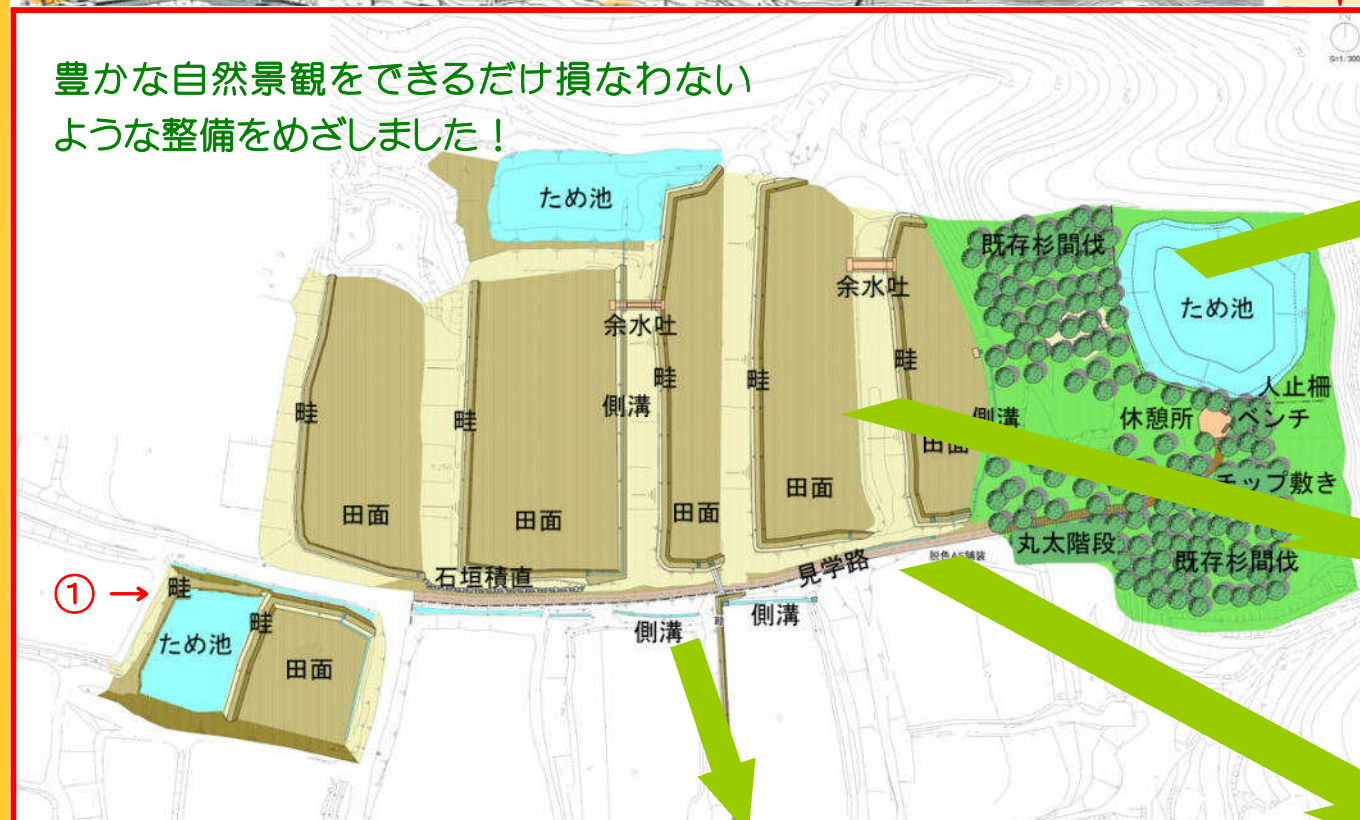


西蓮院下園地の整備工事

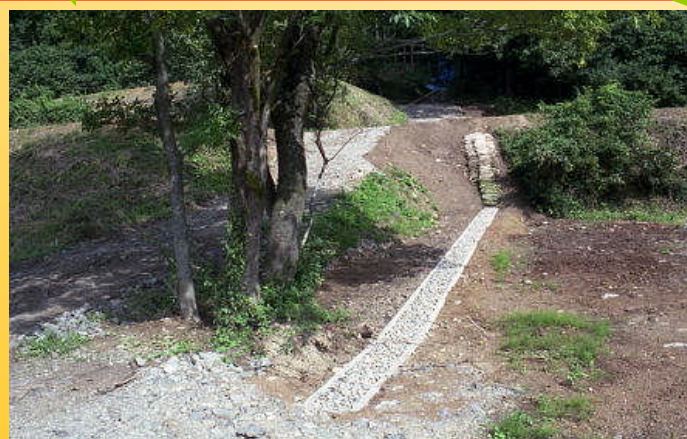
園地(調整池)の整備は、大雨の時に、たくさんの雨水が集落内に流れ込むのを防ぐために行いました。



豊かな自然景観をできるだけ損なわないような整備をめざしました！

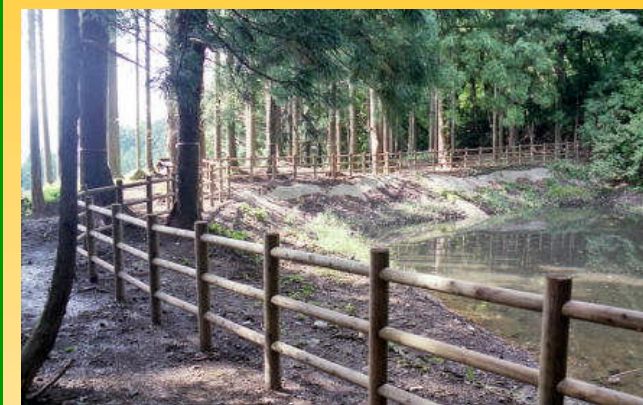


上の図の①からみた整備工事場所の全景です。



西蓮院推定地からの水を流す溝です。コンクリートをむき出しにせず、周囲の景観を意識して、砂利でふたをしています。

②



西蓮院推定地のため池には人止柵を設置しました。



間伐した杉を細かく裁断した木くずを使った遊歩道。

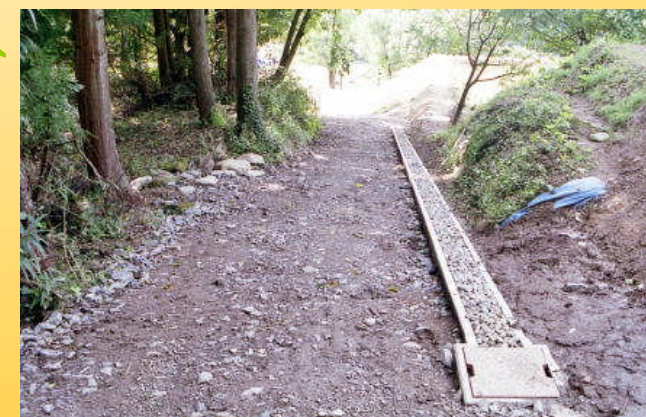
西蓮院下園地整備の工事を行ったいちばん東側の高い場所は、白山神社の絵図から「西蓮院」という坊院があったと推定されています。この場所には、昭和につくられた大きなため池があり、その豊かな自然景観を活用して整備を行いました。また、南谷坊院跡や、九頭竜川をはさんだ遅羽町まで見通せるながめの良い場所に休憩所をつくりました。



休憩所。間伐した杉を使ったベンチを置き、西蓮院推定地からのぞむ景色の写真を使って案内板をつくりました。



大雨をためる園地(左)と少しずつ水を下に流す余水吐。



見学路。将来は脱色アスファルト(茶色)で舗装します。

③

整備工事期間中、皆様にはご協力をいただき、まことにありがとうございました。また、集落内の水路がにごり、たいへんご迷惑をおかけしましたこと、深くおわび申し上げます。

引き続き、11月中ごろから3月にかけて、宗像神社と南大門跡の間の水路と道路の改修工事を行います。今後とも施工業者には指示を徹底して参りますが、一時的に水路がにごる可能性がございます。どうぞご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。